急性期充実体制加算等の施設基準に係る届出書添付書類

(新規・7月報告)

1. 許可病床数

2. 急性期充実体制加算の施設基準

※□には、適合する場合「✓」を記入すること。

□ 急性期一般入院料1を算定する病棟を有する保険医療機関である。						
 □ 急性期一般入院料1を届け出ている病棟について、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱを						
用いて評価を行っている。						
	以下のいずれかを満たしている。					
	口 アの(イ)及び、(ロ)から(へ)までのうち4つ以上を満たしている。					
	口 イの(イ) 又は(ロ)を満たし、かつ、アの(イ)及び、(ロ)から(へ)までのうち					
	2つ以上を満たしている。					
	以下に年間件数又は許可病床1床あたりの年間件数※1を記入※2すること。					
	※1 ()の許可病床1あたりの記載は、許可病床数300床未満の保険医療機関において記入すること。					
	※2 基準	集に該当するとして届け出るもののみの記入	で差し支えない			
		(イ) 全身麻酔による手術		111- 1 		
		(2,000件/年以上)	(=t-++++++++++++++++++++++++++++++++++++	件/年		
1 手術等に係る実績	5	(6.5件/年/床以上)	(許可病床1床あたり 	件/年)		
				件/年		
		うち、緊急手術	(許可病床1床あたり	件/年)		
		(350 件/年以上)	病院において、「手術が緊急である」と			
		(1.15 件/年/床以上)	判定する仕組:			
	ア	(口)悪性腫瘍手術		ルノ左		
		(400 件/年以上)	 (許可病床1床あたり	件/年 件/年)		
		(1.0件/年/床以上)	(計り柄体(体のだり	1十/ 4/		
		(ハ)腹腔鏡下手術又は胸腔鏡		此 7年		
		下手術(400 件/年以上)	(計可存在 1 在 1 + 1)	件/年		
		(1.0件/年/床以上)	(許可病床1床あたり	件/年)		
		(二)心臓カテーテル法による		此 7年		
		手術(200件/年以上)	(計可序序1 序 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	件/年		
		(0.6件/年/床以上)	(許可病床1床あたり 	件/年)		

		(ホ)消化管内視鏡による手術		件/年	
		(600 件/年以上)	 (許可病床1床あたり	件/年)	
		(1.5件/年/床以上)	(計り柄体)体のだり	针/ 牛/	
		(へ)化学療法		此 7年	
		(1,000件/年以上)	(計可库库 1 库 5 + 1)	件/年	
		(3.0件/年/床以上)	(許可病床1床あたり 	件/年)	
		(イ)異常分娩		此 / 左	
		(50 件/年以上)	/款司库库 1 库 4 + 1	件/年	
		(0.1件/年/床以上)	(許可病床1床あたり	件/年)	
	1	(ロ)6歳未満の乳幼児の手術		# /F	
		(40 件/年以上)		件/年	
		(0.1件/年/床以上)	(許可病床1床あたり	件/年)	
	1のアの(へ)を満たしているものとして届出を行っている場合のみ記入すること。				
2 外来化学療	口 外到	· ・腫瘍化学療法診療料1の届出を行	行っている。		
法の実施を推					
進する体制 し	のうち、4割以上のレジメンが外来で実施可能である。				
	ア 該当するものを記載すること。				
	□ 救命救急センター又は高度救命救急センターを設置している				
	口 救急搬送件数(2,000件/年以上)(6.0件/年/床以上)				
0.04 11 11 10 15	件/年(許可病床数1床あたり 件/年)				
3 24 時間の救	イ ・精神科医が速やかに診療に対応できる体制 (口 自院 ・ 口 他院)				
急医療提供	(他院の場合は当該保険医療機関名を記載:				
	・精神疾患診療体制加算2の算定件数又は救急搬送患者の入院3日以内におけ				
	る入院精神療法若しくは救命救急入院料の「注2」に規定する精神疾患診断				
	治療初回加算の算定件数の合計 (20 件/年以上) 件/年				
	以下の入院料のうち、届け出ている入院料の病床数を記入すること。				
	口 救命	 市救急入院料		床	
 	□ 特定集中治療室管理料			床	
	□ ハイケアユニット入院医療管理料				
日	ロ 脳卒中ケアユニット入院医療管理料			床	
区域の定点	□ 小児特定集中治療室管理料			床	
	□ 新生児特定集中治療室管理料 床				
	□ 総合周産期特定集中治療室管理料				
	□ 新生児治療回復室入院医療管理料 床				
5 感染対策	□ 感染	幹対策向上加算1の届出を行ってし	<u></u>		
6 24 時間の画					
像診断及び検	1				
		(口 有	· 口 無)		

7 薬剤師の当					
直体制を含め	(口 有 ・ 口 無)				
た 24 時間の					
調剤体制					
8 精神科リエ	口 精神科リエゾンチーム加算の届出を行っている。				
ゾンチーム加	口 認知症ケア加算1の届出を行っている。				
算等の届出	口 認知症ケア加算2の届出を行っている。				
	ア 院内迅速対応チームの構成員(救急又は集中治療の経験を有し、所定の研修を				
	修了した者の名前を記載すること。)				
	• 医師:				
 9 入院患者の	・専任の看護師:				
9 人院患者の 病状の急変の	イ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に				
州状の忠复の 兆候を捉えて	関する改善の必要性等について提言するための責任者名:				
が応する体制					
73 NO 3 10 PA (II)	ウ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善				
	に関する委員会又は会議の開催日:				
	エ 院内講習の開催日(開催予定日):				
	1回目 月 日 2回目 月 日				
	ア 該当するものを記入すること。				
	□ ・初診に係る選定療養の届出を行って実費を徴収している。				
	・紹介割合の実績が 50%以上かつ逆紹介割合の実績が 30%以上				
	・令和4年度に逆紹介割合又は逆紹介割合が、基準を満たしていない場合				
	に、令和5年度の届出を実施可能とするために予定している、確実な取組:				
	院内で設定している数値目標:				
 10 外来縮小体	Li				
制	□ 紹介受診重点医療機関である。				
	イ 前年度1年間の初診・再診の患者数を記入すること。				
	① 初診の患者数 ()名				
	② 再診の患者数 ()名				
	③ 紹介患者数 ()名				
	④ 逆紹介患者数 ()名				
	⑤ 救急患者数 ()名				
	()				
1	, , , , ,				

11 処置等の休 日加算 1 等の 届出	□ 処置等の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 の届出を行っている。 □ 処置等の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 の届出を行っていない。 ・届出を行っていない理由: ・今後の届出予定について:□ 予定あり 令和 年 月頃 □ 届出を行う見込みがない ・「届出を行う見込みがない」場合、「届出を行うことが望ましい」とされている			
	にもかかわらず、届出を行わない理由: ・「届出を行う見込みがない」場合、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制に係る取り組み状況(見込み等も含む。)について、院内の医療従事者に対しどのように説明を行っているのか、内容を記載すること:			
	以下のいずれも満たすこと。 □ 療養病棟入院基本料又は地域包括ケア病棟入院料(地域包括ケア入院医療管理			
	料を含む。)の届出を行っていない。			
	口 以下の③の割合が9割以上であること。			
	① 一般病棟の病床数の合計 ()床			
12 他の入院料	② 許可病床数の総数から精神病棟入院基本料、精神科救急急性期医療入院 料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料、児童・思春			
の届出状況等	期精神科入院医療管理料及び地域移行機能強化病棟入院料を除いた病床数			
	() 床			
	③ ① ÷ ② × 10 = ()割			
	□ 同一建物内における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院又は			
	介護療養型医療施設を設置していない。 			
	以下のいずれも満たすこと。			
13 退院に係る 状況等	□ 一般病棟における平均在院日数が 14 日以内であること。			
	()日 (小数点第一位まで)			
	□ 一般病棟の退棟患者(退院患者を含む)に占める、同一の保険医療機関の一般			
	病棟以外の病棟に転棟したものの割合が1割未満であること。 () %			
	口以下のいずれかの届出を行っていること。			
	□ 入退院支援加算 1 の届出を行っている。			
 14 禁煙の取扱	□ 入退院支援加算2の届出を行っている。 □ 敷地内禁煙			
14 宗経の収扱	□ 敖地内宗柱 □ 敷地内禁煙を行っている旨を保険医療機関内の見やすい場所に掲示している。			

	□ 敷地内に喫煙所を設けている場合は、以下の届出を行っている入院料にチェッ					
	クすること。					
	□ 緩和ケア病棟入院料、□ 精神病棟入院基本料、□ 精神科救急急性期医療入					
	院料、□ 精神科急性期治療病棟入院料、□ 精神科救急・合併症入院料、□ 精					
	神療養病棟入院料、□ 地域移行機能強化病棟入院料					
	□ 敷地内に喫煙上を設けているが、受動喫煙防止措置をとっている。					
	具体的な受動喫煙防止措置(
	該当するものにチェックすること。					
15 外部評価	□ 日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けている					
	□ 上記に準じる評価を受けている ※具体的に受けている評価内容について、					
	記入すること。 ()					
	□ 届出時において、評価を受けていないが、評価を受ける予定あり					
	受審予定時期 (令和 年 月)					
16 総合入院体	ローの今1時は制力質の民山ナケップいない。					
制加算の届出	口 総合入院体制加算の届出を行っていない。					

3. 精神科充実体制加算の施設基準

※□には、適合する場合「✓」を記入すること。

1 精神病床	医療法第7条第2項第1号に規定する精神	病床の病児	床数	()床
2 精神疾患患者に対 する体制	□ 精神疾患を有する患者に対し、24時間	間対応でき	る体制を	確保し	.ている。
	以下の入院料のうち、届け出ている入院料 当該病棟に入院している人数を記入するこ		、届出時点	気の病	床数及び
3 精神疾患患者に係	□ 精神病棟入院基本料	(床)	(人)
	□ 精神科救急急性期医療入院料	(床)	(人)
る入院料の届出及び入	□ 精神科急性期治療病棟入院料	(床)	(人)
院している人数	□ 精神科救急・合併症入院料	(床)	(人)
	□ 児童・思春期精神科入院医療管理料	(床)	(人)
	□ 地域移行機能強化病棟入院料	(床)	(人)

〔記載上の注意〕

- 1 「2. 急性期充実体制加算の施設基準」の「3」のアを記入した場合には、24時間の救急体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 2 「2. 急性期充実体制加算の施設基準」の「5」の「初診の患者数」「再診の患者数」「紹介患者数」「逆紹介患者数」「救急患者数」「紹介割合」「逆紹介割合」については区分番号「AOOO」初診料の「注2」及び「注3」並びに区分番号「AOO2」外来診療料の「注2」及び「注3」に規定する算出方法を用いること。
- 3 各実績において「年間」とは、前年度4月1日~3月31日の期間を指す。
- 4 「3. 精神科充実体制加算の施設基準」の「2」については、精神疾患を有する患者に対し、24 時間対応できる体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 5 様式6を添付すること。
- 6 「1 手術等に係る実績」「2 外来化学療法の実施を推進する体制」について、院内への掲示物について、A4サイズに縮小し、添付すること。
- 7 「2」の化学療法のレジメンについて、がん腫・レジメンのリスト及びレジメンごとの年間実施実 患者数(入院・入院外別)の集計表を添付すること。